



みのり通信

第33号

発行 令和 8年 2月 2日

特定非営利活動法人みのり福祉会

〒285-0862

千葉県佐倉市新臼井田8-3

TEL・FAX 043-462-6424

ごあいさつ

会報は、ホームページ <<https://www.minoriwelfare.com/>>に掲載してあります。

理事長 立田 芳弘



新年あけましておめでとうございます。新しい年がスタートしました。今年の干支は丙午（ひのえうま）にあたり、80年に一度巡る強いエネルギーを持つ年とも言われていて、躍動感・力強さの象徴の年であります。

この期をきっかけに

みのり福祉会はさらなる飛躍ができればと考えております。

おかげ様でみのり福祉会は、グループホーム5ヵ所（サテライトを含む）、就労支援事業所2ヵ所（ピース・青空協同組合）、放課後等デイサービス・児童発達支援事業所3ヵ所（ひまわり・くろーばー・そら）、相談支援事業1ヵ所（らしんばん）、居宅介護事業所1ヵ所（ルート）、運営することができるようになりました。昨年度は、ほーむワタナベを開設しました。

最近の福祉の動向とはといえば、人口減少と働き手の減少が大きな課題となっています。

法人にとって、必要な事業を地域で継続するため、貴重な人材をいかに活かすかは、ここ数年、顕著になり、最重要課題のひとつになっております。

超少子化、高齢化などによる人材不足と個々の意識の変化が進み「働く／働かせる」ことが社会の関心ごとになっています。

今は、賃金だけではなく、多様化する働き手の方々の望みや動きを具体的な仕組みに取り込んでいかなければ立ちゆかない課題なんだろうと思います。働きやすい職場づくり、就労意識やキャリア観、又は人生観をどう見るか等を整理していくことが大事なポイントになるように思えます。

人材不足をすぐに解消するには時間がかかるように思いますが糸口が見つかれば、早く解決するのではないかと考えます。それが私の頭では難しいのです。

次に、障害福祉サービスにおける「収支差率（収入から支出を引いたもので事業活動事業のバランス、安定性を測る）とは言えば、全福祉サービスの平均収支差率は4.8%で前年度から0.4ポイント下がり、赤字の事業所は6.4ポイント増えて43.6%になっています。

赤字事業所の割合が最も多いのは施設入所支援で57%、居宅介護が46.9%、就労継続支援B型46.8%であります。一方収支差率が最も高いのは9.1%と放課後等



デイサービスになっていました。（福祉新聞から）当法人の福祉サービス事業を照らし合わせるとこのデータ通りではなく、どのような運営が望ましいのか読めない状況であります。

3つ目は処遇改善と物価高騰であります。当法人でも加算や補助金を活用して処遇改善を行っています。全産業との賃金差は縮まってはいません。先だってテレビを見ていたら、〇〇銀行、大卒初任給35万円というニュースをやっていました。人を採用するにはインパクトのある数字かも知れませんが福祉業界はなかなかついていきません。なにせ、報酬単価が上がってこないからです。

物価高騰についても厳しいものがあります。昨年の水道光熱費、燃料費は1事業あたり、158%に値上がり、給食材料費も130%に増えていて財政支援がなければ、やっていけない状況であります。

ともあれ、福祉の話題は頭のいたい話ばかりですが、今年の干支の馬のようにホップ、ステップ、ジャンプと勢いよくかけあがられればと思います。

まずは「退職制度の確立」と「社会福祉法人認可に向けて」取り組んでいこうと思います。今年は勝負の年と考えております。

今回の会報のテーマは「仕事をしていくうえで大事にしていること」です。

どんな組織でも人は「財産」です。人が組織を作ります。職員が何を考え、どのような思いで仕事をしているか？職員のいろいろな働き方を感じとっていただければと思います。



今回「仕事をしていくうえで大事にしていること」の掲載はみのりほーむ・ピース・そら・くろーばーです。

次号で青空・ひまわり・らしんばんを掲載いたします。

仕事をしていくうえで大事にしていること

障がい者就労・生活サポートと ピース

関口 綾子

「仕事を楽しいと人生が楽しい」と聞いたことがある。それは1日の多くの時間を職場で過ごしているから。仕事を楽しく出来ればそれ以上の事は無いし、この福祉の仕事は楽しく出来る仕事だと感じている。



利用しているメンバーさんたちも同じで、なるべく毎日楽しく通所して欲しい。そのためには、職員と一緒に働く仲間と良好な関係を築き、楽しい時間を過ごせる環境を作る事が大切だと思う。

人それぞれ「楽しさ」は違うが、「何だか楽しそうに自分に声を掛けてくれた」と感じるだけで、心が落ち着くし良い時間を過ごす事が出来ると思う。

職員の声掛けの仕方次第でメンバーの心は大きく変わる。常に相手の立場に立ち相手の心に寄り添う事で、より良い支援が出来ると思うし、信頼関係も築けると思う。それは職員同士のやり取りであっても共通しているところだと思う。

いかに楽しく仕事をするか、せっかく働くならメリハリを持ち、楽しく仕事がしたい。



笠井 早苗

仕事をしていくうえで私が大事にしていることは、人との関わりです。職場ではさまざまな立場や考え方を持つ人が働いているため、相手の話をよく聞き、気持ちを尊重する姿勢を心がけています。

小さな声かけや挨拶、感謝を伝えることを大切にすることで安心して働ける雰囲気づくりにつながると感じています。また、困っている人がいれば自分にできる範囲で手を差し伸べることで、自然と協力し合える関係が生まれると



考えています。人との信頼関係は一朝一夕で築けるものではありませんが、日々の積み重ねを大切にし、周囲と良好な関係を保ちながら、安定して仕事に取り組んでいきたいです。

グループホーム みのりほーむ

田村 順子

私は、「仕事を楽しむ」ことを大事にしています。

「仕事なのに、楽しむなんて！」と言う意見をお持ちの方もいるかと思います。ほーむは「家」と言うことを考えたら、ぎすぎすしている家より、楽しい家の方がいいと思います。

私が楽しんで仕事（利用者さん対応や事務）をしていると、伝わるんです。

嫌々仕事をしていい職場ではありません。（どこの職場

もそうですけど。）常に、人対人（利用者さん対職員）の職場です。「マイペースでの仕事」ではなく、「利用者さんに合わせる仕事」をする職場です。朝の「おはよう！」「いってらっしゃい！」「おかえりなさい！」元気に対応し、気持ちよく出勤して帰ってくる。そんな「帰りたくなる家」を提供していければいいと思っています。



「仕事を楽しむ」って簡単そうで、難しくもありますが…私はこれから先も利用者さんを巻き込んでたくさん「仕事を楽しみたい」と思います。



中村 秀隆

一つ目は健康管理です。ここでいう健康管理とは、身体の健康、心の健康を含めた健康管理です。

『健全なる精神は健全なる身体に宿る』という名言がありますが、決して身体が健康でないと精神が健全でいられないという訳ではないとは思いますが、精神が蝕まれる事で、身体に不調をきたし不健康な生活に陥り働けなくなった方々を見て来ました。

名言を私なりに解釈して「健全なる身体」を確保する為に、食生活の改善、軽い運動を生活の中に取り入れています。生活のリズムの改善に課題はありますが、今のところ健康診断で特に問題ありません。

「健全なる身体」を確保できれば、生活をする上での不安材料を減らすことができ、強い気持ちをもって地道な努力を積み重ねる事もでき、家庭だけでなく社会的にも安定した生活を送ることができ、精神の安定にも取り組めて「健全なる精神」に繋がるのだと思います。精神の安定には、物事の受け止め方考え方が大きく影響すると思いますが、そこには人生経験に加えて道徳心、哲学、宗教などの影響も大きいと思います。

二つ目は職場でのチームワークです。そこではコミュニケーションや適材適所の取り組みが必要だと思います。コミュニケーションで重要なことは、自己主張の強い人達や控えめな人達がいる中でその溝を埋める努力だと思います。『話し上手は聴き上手』というのはその手段を表した言葉だと思います。個性の違う人たちが個々に発言しやすい環境、同意しやすい状況を作る事だと思います。

適材適所への取り組みは、人には得手不得手がありますが、職場環境において一人一人の得意な能力を組み合わせることで、業務の改善や効率を促進することができると思います。

チームワークを促進する事で働きやすく成果に繋がる職場を作る事ができると思います。信念や事業における目的ルール等語るべき事は他にも多々ありますが、芯に持つべきことは上述したことだと考えています。



仕事をしていくうえで大事にしていること



児童デイサービス そら

押木 久美子

常に私は「チームワーク」を心掛けています。私の仕事の相手は子どもとはいえ「人」であり「人材」です。一日のひと時しか会えませんが、大事に育てなければならぬと思っています。

私の言葉が子どもに入らない時もあります。その時に力を発揮してもらえるのが職員同士の「チームワーク」だと思います。

私の行き届かないところを、助け合いの精神で他職員が子どもたちと向き合ってくれています。

お互いの強みを生かし、弱みを補い合い、常に話し合い、相談しながら日々過ごしています。

職員も、子どもたちも一人で問題を抱えこまないように、また抱え込ませない様に、そして黙っていてもフォローが自然と出来る様にと、「そら」というチームを大切にしていけることが、私の仕事をしていくうえで1番大事にしている事です。



小池 奈津

私が仕事をしていくうえで大事にしていることは“子ども1人ひとりの良いところを見つけること”です。

利用している子ども達は、それぞれ個性や特性があり、得意なこと苦手なことも違います。

その為、できない部分に目を向けるのではなく、できていることやその子らしい良さに気付き、伸ばしていく関わりを心掛けています。

日々の支援の中では、小さな変化やささやかな成長を見逃さないよう意識しています。たとえば自分から挨拶ができたこと、友達に優しくできたこと、最後まで活動に取り組めたことなど、一見当たり前に思えることの中にも、その子の努力や頑張りが沢山あります。

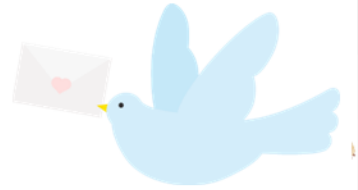
私はその瞬間を大切に、「できたね」「すごいね」と具体的に言葉で伝えるようにしています。そうすることで、子どもたちが自分に自信を持ち、前向きな気持ちで過ごせるようになって感じています。

また、職員同士で子どもの良い言動を共有することも重要だと考えています。1人の目だけでは気付けない長所も、チームで関わることで多く発見できます。

お互いに情報を交換し合いながら、その子に合った支援方法を考えていくよう努めています。



子ども達は、認められる経験を重ねることで大きく成長していきます。これからも初心を忘れず、1人ひとりの良いところに目を向けながら子ども達に寄り添い、自信と笑顔を支えられる保育士でありたいと思っています。



児童デイサービス くろーばー

及川 みゆき

仕事をしていくうえで大事にしていることは人間関係です。

気が合う 合わない 好き 嫌いなどの感情だけで判断せず話をしたり聞いたりしながら少しずつ相手のことを理解するようにしています。

そして理解してもらおうと思っています。第一印象が良かったのにそうではなかったり逆に第一印象が悪かったのに本当は良い人だったりすることがあります。

特にこの福祉の仕事は一人では成り立たないのでお互いに協力していく必要があります。

人間関係がうまくいっていいないと仕事に行くことすら難しくなったりします。

仕事に支障が出来ることもあります。うまくいっていれば仕事も順調に進んでいきます。簡単ではないですが信頼関係を築き人間関係を大切にしたいと思っています。



櫻井 利光

私が仕事をしていくうえで大事にしていることは利用者さんの安全の確保です。

特に利用者さんの送迎時は安全な運行を心掛けるよう気を付けています。

また、利用者さんが来所されている時は怪我が無いよう見守ることを一番に考えています。

特に公園などへの外出の際は決して見過ごしが無いよう注意しています。

利用者さんの安全を守るためには職員のチームワークが不可欠と考えていますので職員間の連携が強く持てるよう努力したいと考えています。

利用者さんがくろーばーに来られて楽しく安全に過ごして頂き安全にお送り出来るよう努めていきたいと考えています。



みの市 開催日のお知らせ

3月7日 土曜日 10時より

今回も美味しいものや新鮮野菜など
もりだくさんでみなさまのお越しを
お待ちしております。

ぜひ 遊びにきてください！！



千葉県立美術館で行われた展覧会「あうゆるひとの表現うみのもいの玉手箱5」で「障がい者就労・生活サポート ピース」から出展された2名の方が入選されました

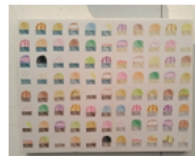
おめでとうございます



<千葉県立美術館長賞>

李 安奈さん

・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・〇〇・



<うみのもり賞>

大石 好雄さん



11月より開設され、12月から世話人として配属した足立と申します。
利用者の方が安心して過ごせるよう心がけ、コミュニケーションを取りながら
穏やかな生活が送れるよう、支援に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします
ます。

現在利用者が一名ですが今後入居される利用者様に気持ちよく過ごしていただく
ためにも、徹底して清掃・修繕をし、必要な電気製品等も揃え、お迎えできる準備
を整えました。「ほーむワタナベ」で過ごす時間が利用者にとって心地よい毎日が
送れるように願い、職務に従事してまいります。

みのりほーむワタナベ

開設



理事の

長澤様より

いつも素敵なお花を
ありがとうございます
玄関先がはなやかになりました。



・キモト建工 木本英夫 様(成田市) ・渡部勲 様(東京都) より ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

職員について ～新入職員～

ピース 笠井 早苗さん

くろーばー 櫻井 利光さん

青空 山口 美樹さん
村山 清隆さん

ほーむ 足立 陽子さん
古川 美喜さん

ひまわり 佐藤 敦さん



よろしくお願ひいたします。

